

公益社団法人化学工学会
粒子・流体プロセス部会 2020 年度第 1 回幹事会
議事録（案）

日時：2020 年 9 月 23 日（水）10:00-11:40

場所：Zoom ミーティング

出席者：桑木，寺坂，谷口，酒井，立元，木俣，三角，山田，押谷，藤本，野田
（以上 11 名，敬称略）

1. 前回幹事会議事録の確認（桑木）

前回幹事会の議事録内容（資料 1）を確認し、内容について承認された。

2. 部会長会議報告（桑木）

桑木より、2020 年度第 1 回、第 2 回部会 CT・部会長合同会議（資料 2）における議論についての報告がなされた。主な内容としては、部会や分科会が所有する遊休資産とその基金化について。この件についてはすでに各分科会に検討の依頼済み。

3. 部会名簿整備と 2020 年度予算配分について（現況報告）（野田）

事務局より、部会名簿の整備についての説明、および 2020 年度の各分科会への仮配分額についての報告があった。化学工学会でなく、部会にのみ所属する会員の会費の請求がまだであるため、その分を除いて、学会から部会に配分された分のみをまずは分科会に配分し、部会のみ所属会員分はその後に配分することとなった。配分額は後日、メールで報告し、承認を受ける予定である。

4. 2020 年度部会セミナー実施内容および準備内容の確認（寺坂・三角）

寺坂副部会長（行事担当）と三角部会セミナー担当幹事より、部会セミナーについての内容説明・確認があった。

まず、昨年度、中止となった部会セミナーに関して、部会セミナーで行われる各部会賞の授賞式が行われなかったことについて、受賞者の受賞コメントをニュースレターに入れてはどうかという提案がなされた。立元ニュースレター担当幹事に確認し、問題ないということでした承された。

本年度の実施に関しては、COVID-19 の影響が今後どうなるか予測できず、年会の実施も不透明なことから、年会が通常通り実施された場合、例年通り、初日を行うことを軸に、原案を作成し、幹事会に諮ることとなった。

5. ニュースレター進捗状況

立元担当幹事より、ニュースレターの進捗状況について報告があった。

6. 部会賞進捗状況の報告

各部会賞担当より、進捗状況についての報告があった。

・シンポジウム賞：

10 件のプレゼンテーション賞を決定した。奨励賞は応募がなかった。

・動画賞：

最近 2 年、応募者がいないため、動画賞のあり方に関して議論した。桑木部会長から動画賞のあり方を大きく変更することも含めて検討してほしいとの依頼を受けて、酒井担当幹事から **Best Paper Award** の提案がなされた。まずは、動画賞の継続・廃止について部会会員の意見を幅広く聞くべきであるとの意見が出され、一度、各分科会で意見を聞くこととなった。

・技術賞：

現在募集中。

・フロンティア賞：

現在募集中。

7. 「第7回若手研究者・技術者を対象とした工場見学および交流会」準備状況
伊奈担当幹事より、第7回若手研究者・技術者を対象とした工場見学および交流会の準備状況について報告があった。

8. 各分科会報告

流動層分科会より、第25回流動化・粒子プロセッシングシンポジウム（FB25）の計画（資料7）について報告があった。

9. その他

○次期以降の部会長について

現部会役員の任期が、今年度末までのため、次期以降の部会長について意見交換をおこなった。意見交換の中で、現部会長より以下の提案があった。

- ・ 部会長は分科会の持ち回り制とし、副部会長は次期および次次期部会長となる分科会より選出する。なお、前部会長は監事となる。
- ・ 事務局は、部会長および副部会長で協議し、担当者を選定する。前事務局は、事務局補佐として1年間幹事会に残留する。
- ・ 部会長の持ち回り順は、これまでの経緯を基に、次年度より
「流動層」→「気泡・液滴・微粒子分散工学」→「ミキシング技術」→「熱物質流体工学」→「粉体プロセス」
としてはどうか。

これに対し、気泡・液滴・微粒子分散工学分科会代表、および、熱物質流体工学分科会代表より

気泡・液滴・微粒子分散工学分科会の幹事と熱物質流体工学分科会の幹事は、多くの方が重複することから、一緒にして持ち回りとさせてほしい

との要望があった。

持ち回り順以外については、幹事会では特に反対は無かったが、各分科会にて議論することとなった。

以上